

- ・このカタログは2026年2月現在のものです。
- ・製品の改良・改善のため、仕様は予告なく変更することがあります。
- ・製品の色は印刷上、実際の製品と多少異なる場合がありますのでご了承ください。



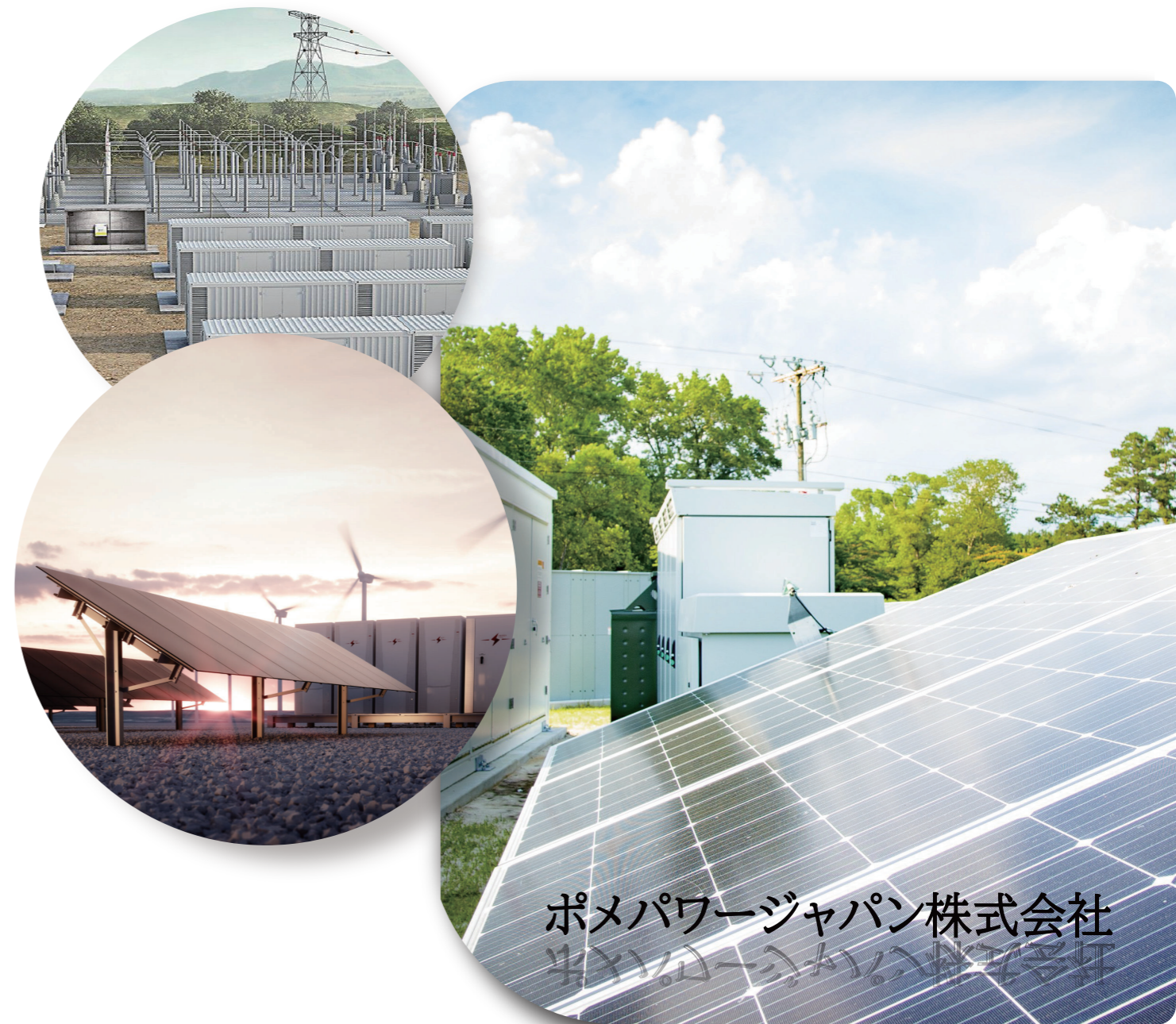
会 社 名	Pome Power Japan株式会社 (POMEPOWERJAPAN.Co.,Ltd)
グループ会社	<ul style="list-style-type: none"> ■ 武漢星源新能源再生科技有限公司 (Wuhan Pomepower New Energy Technology Co., Ltd.) ■ 星儲能源(山東)科技有限公司 (Shandong Geely Sunwoda Power Battery Co.,Ltd.) ■ ジーリーサンオーダー株式会社 (Shandong Pomepower Technology Co.,Ltd.) ■ マウントエナジージャパン株式会社 (Mount Energy Japan Co., Ltd.)
ホームページ	■ URL:www.pomepower.com
所在地	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本社 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南2丁目1-5 TEL : 092-791-5258 FAX : 092-791-5289 ■ 東京事務所 〒135-0064 東京都江東区青海2丁目7-4 TEL : 03-6426-0061 FAX : 03-6426-0061

RE100、SDGs 対応 PPS・PPA Solar Battery System

自家消費・系統用蓄電池システム

低圧から特別高圧まで幅広く対応

総合カタログ



ポメパワー・ジャパン株式会社
POMEPOWER JAPAN CO., LTD.

CONTENTS

目次

- 01 Group Introduction
グループ紹介
- 02 DEVELOPMENT HISTORY
製造拠点と成り立ち
- 03 Product Introduction
製品紹介
- 04 Business Partners Introduction
提携先紹介
- 05 System Configuration Diagram
システム構成イメージ
- 06 Quality Guarantee and After-Service
品質保証及びアフタサービス



Pome Power Japan

ジーリーグループは、各子会社と協力し、新エネルギーとインテリジェント化への転換を核心とし、科学技術エコサークルの構築を継続的に推進し、再生可能エネルギーとインテリジェント化への転換を加速させるとともに、多様で開かれた協力を堅持しています。

2020年には欣旺達電子科技社集団（以下「サンオーダーグループ」）と提携し、山東省棗荘市にジーリーサンオーダー社を設立しました。同社は、リチウムイオン電池、リチウムポリマー電池、動力電池、蓄電池、バッテリーマネジメントシステム、充電バッテリーパックの開発、製造、販売、アフターサービスを主な事業とし、リチウム電池関連製品に関する技術およびコンサルティングサービスも提供しています。セル生産ライン、バッテリーモジュール、PACK生産ラインの年間生産能力は10GWhで、より多くの顧客ニーズに応えることが可能です。

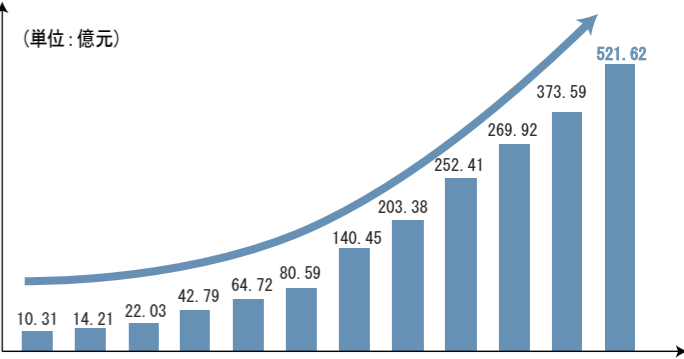
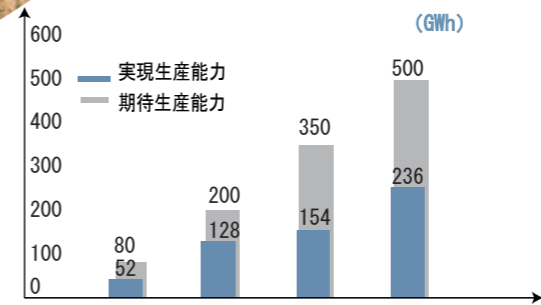
Pome Power エナジー（山東）有限公司は、中国武漢星源グループホールディングスの一員であり、四川峰谷新能源集団の傘下に属しています。同社は2021年、中国高新（山東）投資集団との共同出資により設立されました。蓄電池パックの生産ライン、組立ライン、検査ラインに加え、研究センターや実験センターを有しており、蓄電池用ステンレスコンテナの設計・製造も行っています。充実した設備と高い技術力を誇る企業です。

研究開発投資

- 27億円以上 研究開発費
- 3000以上 研究開発設備
- 2000件以上 開発特許数
- 3000人超 研究開発人員

2021年 売上 374億元 昨年比25.82%増	2022年 売上 521億元 昨年比39.3%増	2021-2022年 売上の推移 50倍増 成長率43.19%増
------------------------------------	-----------------------------------	---

全体の生産能力計画





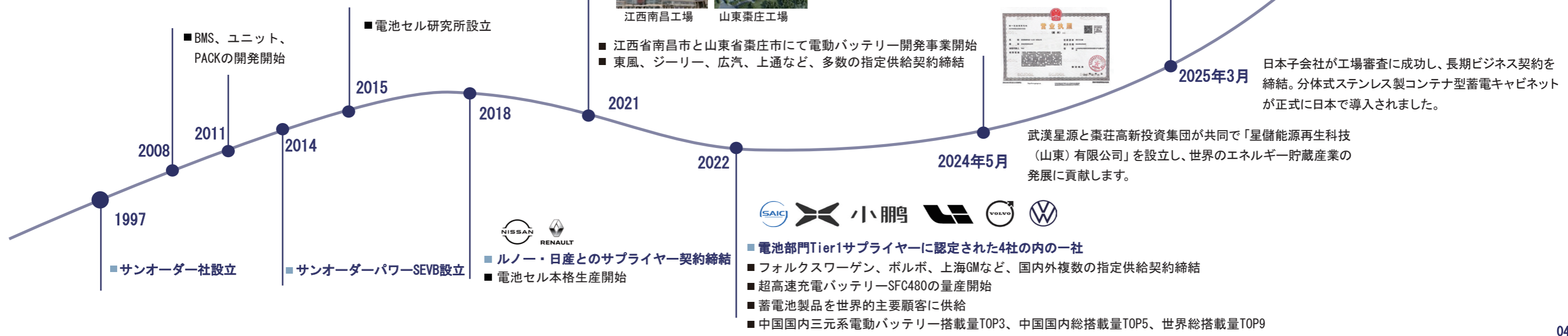
製造拠点と成り立ち



中国：山東棗荘工場 江西南昌工場
 惠州博羅工場 江蘇南京工場
 浙江義烏工場 湖北宜昌工場
 四川什邡工場 広東茂名工場
 国際：モロッコ工場 ハンガリー工場

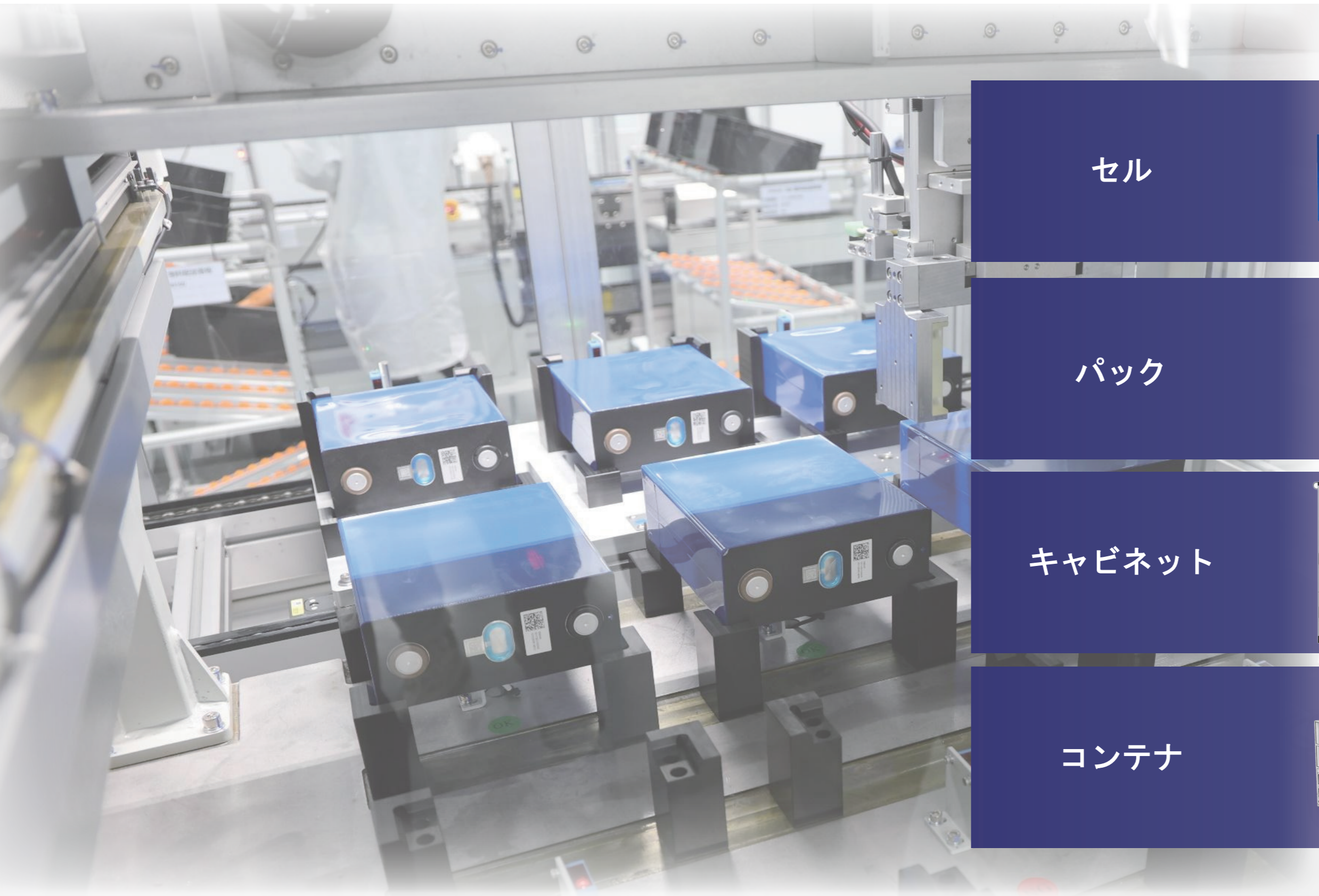
海外支社
 アジア：日本、東京、福岡
 韓国、ソウル
 北米：アメリカ、ロサンゼルス
 アメリカ、シリコンバレー
 アフリカ：モロッコ
 ヨーロッパ：フランス、パリ、ドイツ、
 ハンブルク

世界のカスタマーサービス拠点
 国際：日本 イギリス
 アメリカ ルーマニア
 ドイツ トルコ
 フランス





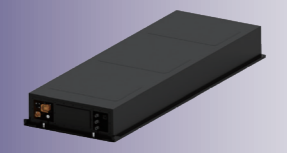
製品紹介



セル



パック



キャビネット



コンテナ



セル/モジュールの仕様



項目	仕様	備考
定格容量	314Ah	
定格電圧	3.2V	
充電終止電圧	3.65V	
放電終止電圧	2.5 V (0°C<T≤60°C) 2.0 V (-30°C≤T≤0°C)	セル上部温度
動作電圧範囲	2.8V~3.6V	
定格エネルギー	1004.8Wh	
標準充放電電流	0.5CP	@25±2°C
最大連続充放電電流	0.5CP	@25±2°C
動作温度範囲	充電：0°C~60°C 放電：-20°C~60°C	
保管温度	-20°C~55°C	保管環境湿度(65±20)%RH
セル質量	5.55±0.15kg	
セル寸法 (W×D×H)	(174.3±0.5)mm × (206.9±0.5)mm × (71.63±0.5)mm	
認証		

※製品改良の為、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。

セルの特徴

高エネルギー容量	・ 395Wh/L	・ 180Wh/kg
低価格LCOS	・ 初期コスト ↓8%	・ 運営コスト ↓3%
高倍率	・ 設置コスト↓15%	・ 1C放電/10分間バックアップ
高エネルギー効率	・ 初期エネルギー効率95%	・ ライフサイクル>93%
長寿命	・ 12000サイクル	・ 20-25年適用
低温充電	・ 許容放電温度：-20°C	・ 最適充電温度：0~35°C

パックの仕様



基本仕様	280Ah	備考
定格容量	104.5kWh	
定格電圧	332.8V	
電圧範囲	291.2~374.4V	
電池セル構成	1P104S	
定格エネルギー	104 kWhv	
寸法 (W×D×H)	785×2190×240mm	
重量	約650kg	
使用環境湿度	≤ 95% RH	結露なし
冷却方式	液冷式	
保護等級	IP67	

※製品改良の為、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。

パックの特徴

自社開発の高性能・高安全・優れた熱安定性を兼ね備えた蓄電池セル

高性能 様々な用途に対応する 高倍率・長寿命 	安全性 “リン酸鉄リチウム+ グラファイト”システム とオリビン結晶構造 	安定性 LFP材料のため、熱分解 温度800°C以上で、酸素 放出が極めて低い 	認証済 GB/T36276、UL1973、 UL1642、UL9540A、 IEC62619、IEC62133、 UN38.3等
---	--	---	---

検査項目	使用シナリオ	検査項目	使用シナリオ
高出力充電	高負荷充電での使用場面	海水浸漬	沿岸部での海水浸漬場面
衝撃	輸送中の車両急加減速場面	恒温恒湿	高温多湿環境での保管場面
定電圧継続充電	満充電維持での長期（28日） 継続充電場面	高温保管	高温環境での保管場面
		針刺し	外部鋭利物による刺穿場面



屋外キャビネット

水冷式 100kW/215kWh

215kWh

- 浸漬型消防、高い安全性。

372kWh

- キャビネットはIP55の高保護等級で、屋外の様々な場所に設置可能。

418kWh

- 機器内部システムにより機器の寿命予測を含めた稼働状況を完全に把握し、安全な運用維持を実現。

- クラスタ間のバッテリーセル温度差を3℃以内に抑え、バッテリー寿命を著しく向上させます。



製品仕様

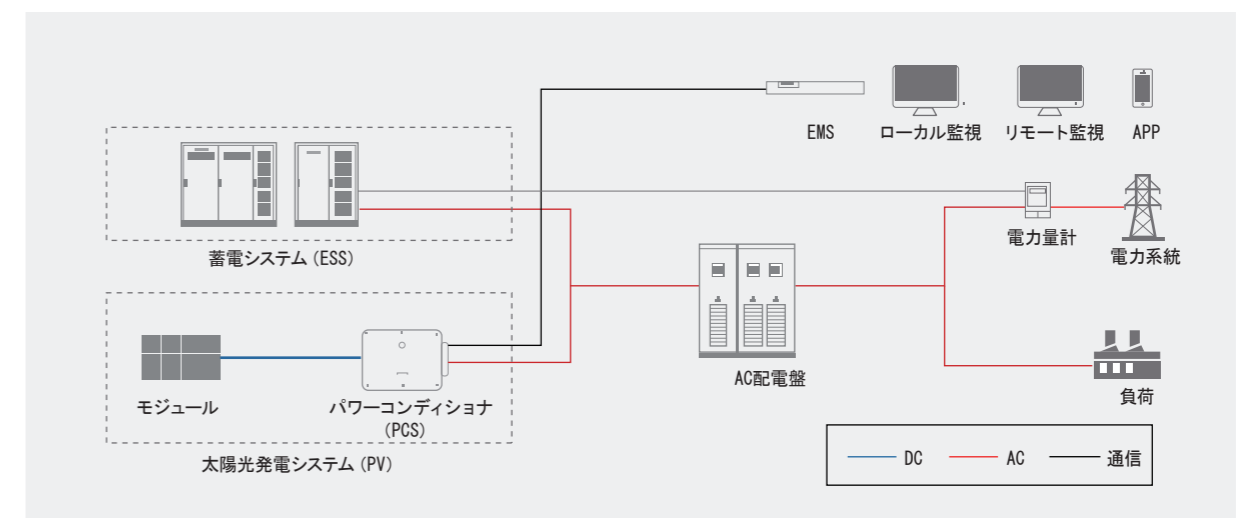
基本仕様	215KWh	372KWh	418KWh
変換器最高効率		99%	
通信方式	RS485/イーサネット	RS485/CAN/イーサネット	RS485/CAN/イーサネット
保護等級	IP54	IP55	IP55
許容動作温度範囲	-20~55℃	-20~45℃	-20~45℃
動作湿度範囲（結露なし）		0.95%	
寸法（幅×奥行き×高さ）	1414×1450×2180mm	1380×1400×2330mm	1380×1400×2330mm
重さ	≦2700kg	≦3700kg	≦3700kg

直流側 (DC)	215KWh	372KWh	418KWh
電圧範囲	627~864V	1164.8~1497.6V	1164.8~1497.6V
システム容量	215kWh	372kWh	418kWh
システム構成	5P48S	8P52S	8P52S
構成方式	1P48S/43kWh	1P52S/46.5kWh	1P52S/52.25kWh
交流側 (AC)	215KWh	372KWh	418KWh
定格出力	100kW	160kW	215kW
定格電圧	380V	1331.2V	1331.2V
最大出力（グリッド連携）	110kW	176kW	236.5kW
最大出力（オフグリッド）	100kW	160kW	215kW
許容電圧	-15~+10%	-15~+10%	-15~+10%

認証

※製品改良の為、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。

導入事例





ステンレス製コンテナ 水冷式

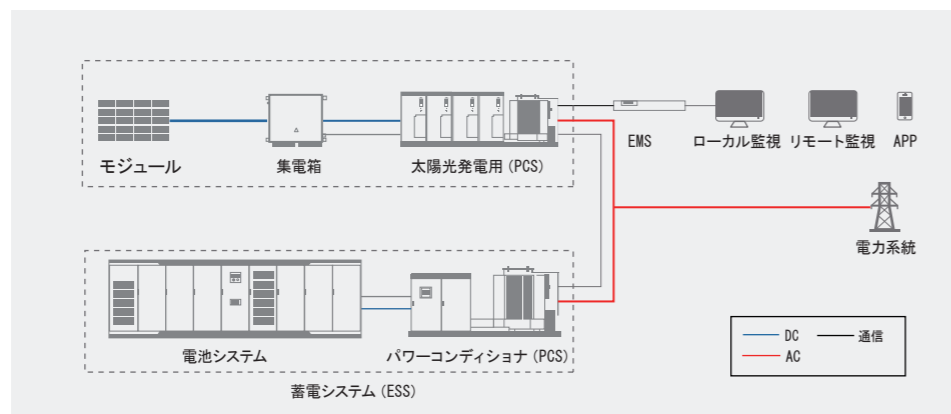
製品特徴

- 水冷技術により、バッテリー寿命20%以上延長。
- 20ftフィートコンテナ型でバッテリー容量4.18MWhの高いエネルギー密度を実現。
モバイルアプリ（APP）対応により、現場および遠隔での監視と運用保守が可能。
- PACKレベル新型消防システムにより、セルの再発火を防止して、安全性を向上。
- クラスタ制御方式により、クラスタ間の循環電流問題を解決し、バッテリー容量の利用率为7%向上
- また、新旧バッテリーの混用や段階的な設置をサポートし、LCOS（電力コスト）を20%削減。



分割型

導入事例



製品仕様

基本仕様	
定格容量	4.18MWh
定格電圧	1331.2V
電圧範囲	1040~1497.6V
定格電流	751.2A
組電池構成	416直列(104セル×4パック)×10並列(ラック)
セル	リン酸鉄リチウムイオン電池
定格運転条件	0.25P(1000KW)
寸法(H×W×D)	2702mm × 2577mm × 6174mm ※キャビネットの設置状態により寸法が変わる可能性有
重量	36ton (電池キャビネット6.7ton×5)
筐体材質	ステンレス
防塵・防水等級	IP54
防食等級	C4
サイクル寿命	≥6000回 (@EOL : SOH80%、DOD : 95%、25°C)
DC-to-DC RTE	≥94% (@25°C)
システム消費電力	定格運転時 : 16.983 kW 待機時 : 0.404kW
動作環境温度	-30~50°C (45°C以上ディレーティング)
保管環境温度	-30~60°C
動作環境湿度	RH ≤95% (結露無きこと)
設置可能標高	≤3000m (2000m以上ディレーティング)
補助電源電圧範囲	380V ±10%、50/60Hz (3相4線+アース線)
冷却方式	液冷
消火剤	エアロゾル
通信インターフェース	Ethernet、RS485、CAN

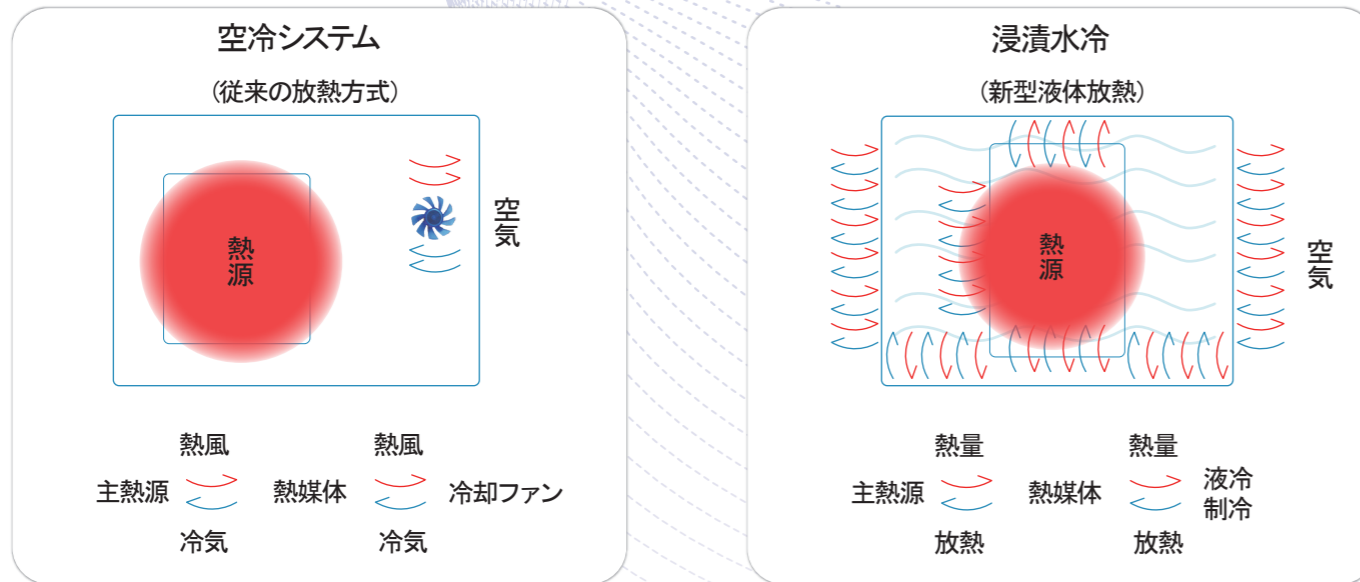
※製品改良の為、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。

適用シーン

- 産業用電力の最適化
鉄鋼・化学などのエネルギー多消費企業において、需要電力量料金を削減し、ペナルティ料金を回避。
- 再生可能エネルギー発電所向けソリューション
太陽光発電/風力発電の出力変動を平滑化し、系統連系の安定性を向上、発電量の損失（出力抑制）を低減。
- 商業エリア向けマイクログリッド
中核的な蓄電ユニットとして、系統連系・独立運転をシームレスに切替え、重要負荷への電力供給を確保。

システム構成改善

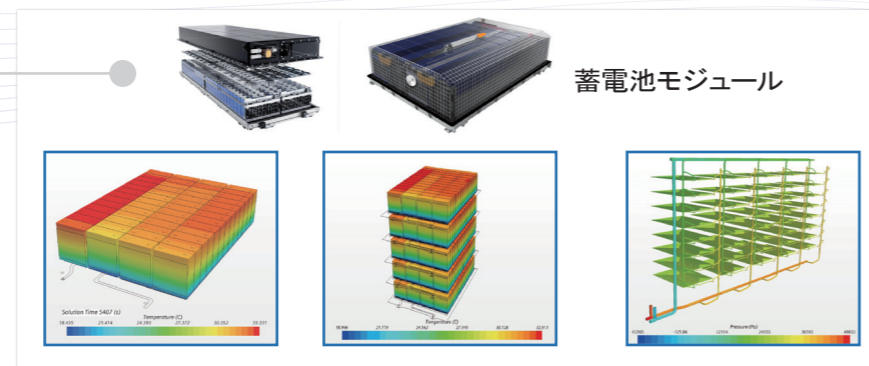
水冷式设计



従来の空冷方式に比べ、水冷冷プレートは放熱効率が高く、騒音が低い。

- 1、水冷冷プレートは放熱面積を大幅に拡大し、熱を効率的に吸収できる。
- 2、水の比熱容量は空気より大きいので、熱を迅速に移動・除去できる。
- 3、水冷冷プレートは要求に応じてカスタマイズ可能で、さまざまな機器のニーズに対応できる。

温度調節効果

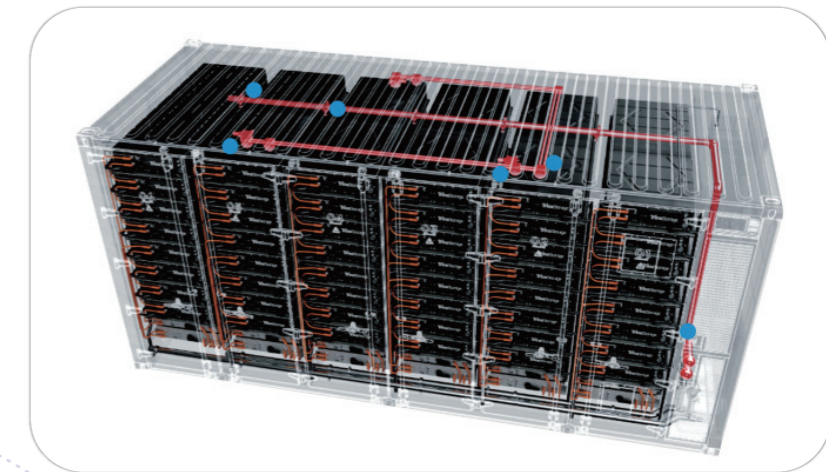


動作条件：0.5Pで2時間充電、30分間静止
+0.5Pで2時間放電

- バッテリークラスターレベル温度差<3°C
- コンテナシステムの温度差<5°C
- システム温度≤35°C
- クラスターレベル分流誤差<5%

消防安全図

- 散水配管
- 散水ノズル
- 温度検出器
- 煙感知器
- 消防用給水口
- 可燃性ガス検知器

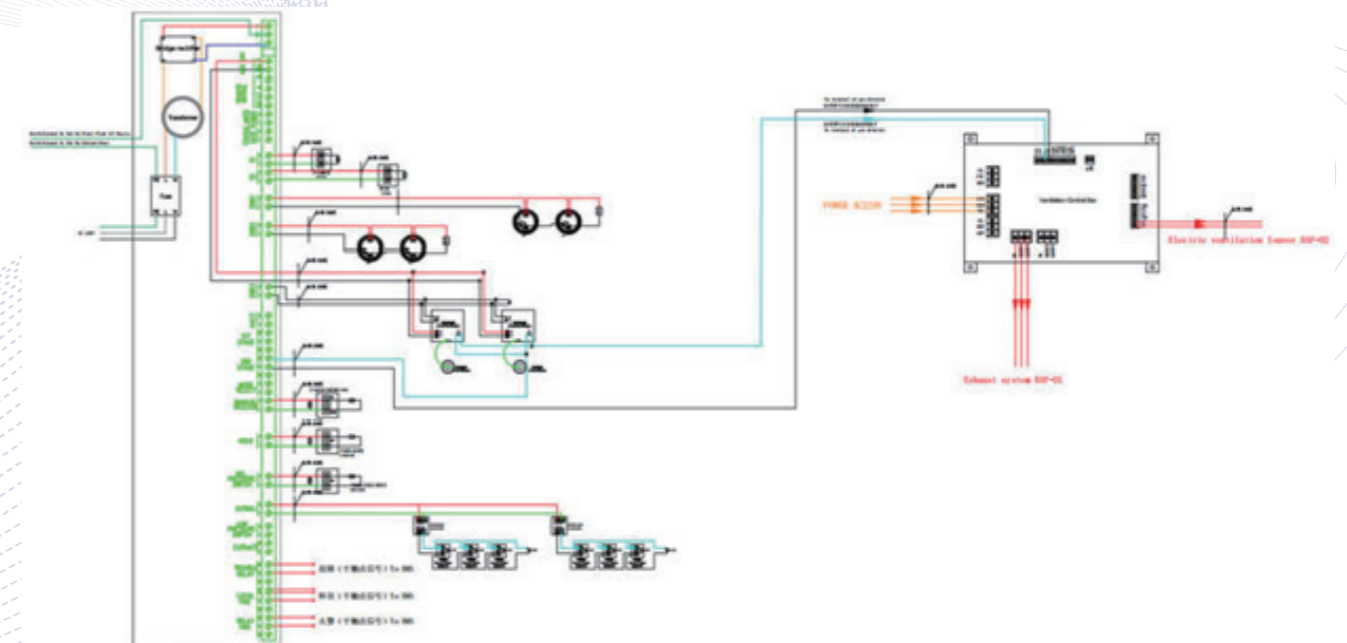


消防設備配置図

※製品イメージ参考図

番号	主要構成部品	説明
1	エアゾル消火装置	エアゾル消火剤貯蔵
2	各種自動検知器	煙検知器、温度検知器、可燃性ガス検知器
3	ガス消火システム連動制御盤 および機器	音光警報器、緊急停止、ガス放出警報
4	防爆排気システム	防爆排気ファン、給気
5	水系統	スプリンクラー消火システム
6	ガス消火制御盤	デジタル火災報知制御盤

消防システム原理図



自社製の高耐久コンテナ

Pome Power 蓄電システムの特徴

Pome Powerの系統用蓄電システムは、グループ企業であるGEELY-SUNWODA社製のセルを採用しています。浙江吉利グループはVOLVOやLOTUSを含む世界的自動車ブランドを展開し、SUNWODA社はメルセデス・ベンツや日産にも採用される世界有数の電池メーカーです。両社による合併企業GEELY-SUNWODAとともに、Pome Powerは強固な経営基盤のもと、高品質な蓄電システムを提供します。

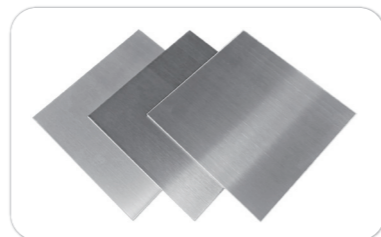


ステンレス製コンテナ外板

PomePowerの系統用蓄電システムは、外板にステンレスを採用した自社開発・製造のコンテナを採用しています。標準仕様で塩害地域での設置が可能であるとともに、スチール製コンテナで懸念されるコンテナ筐体の塗装不良に起因する赤さび発生の心配がありません。また、蓄電池セル工場と同一エリア内に蓄電システムアセンブリ工場があり、優れた製造品質管理体制を整えています。



- 耐火性 2H
- 耐熱鋼板/耐熱サンドイッチパネル/耐熱鋼板

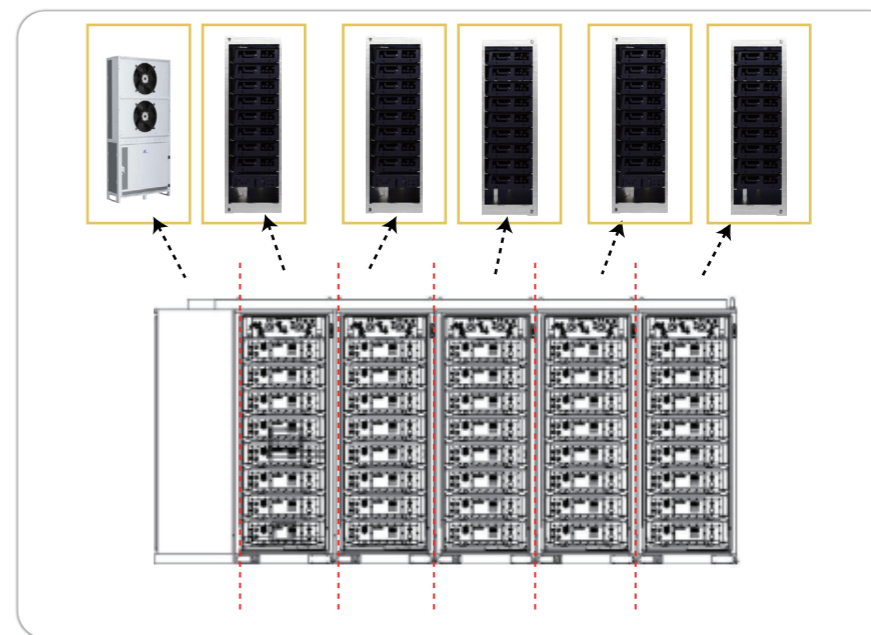


- 保護等級：IP55
- 塗装色：RAL7035（標準色）

6分割式20フィートサイズ・コンテナパッケージ

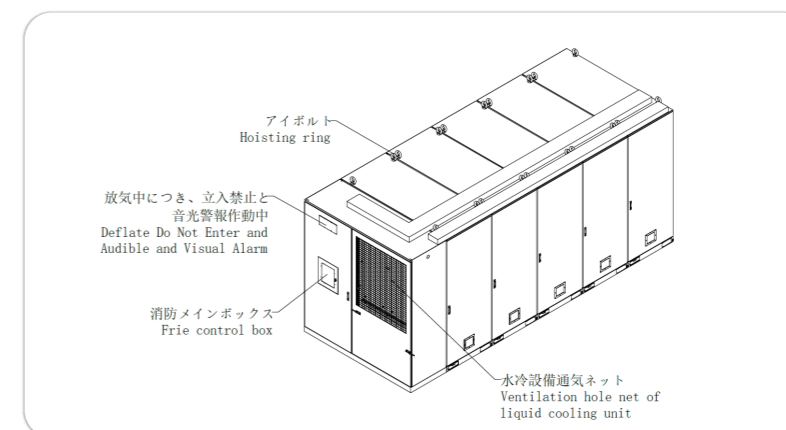
一般的な20フィートサイズ・コンテナ蓄電システムの場合、その重さは概ね40トンになることから輸送ルートの制約や通行許可申請手続き、特殊輸送車両や大型ラフテレーン・クレーンの手配が問題になります。Pome Powerの系統用蓄電システムは6分割式のコンテナを採用しており蓄電池コンテナユニットの1個の重さは約7.5トンなので、輸送、設置が容易です。

なお、分散型のキャビネットタイプ蓄電システムでも重さの問題を解消することができますが、制御盤や消防装置が各キャビネット毎に必要となること等から高コストになるとともに、各キャビネット間に離隔距離を取らねばならず設置面積が広がってしまうデメリットが避けられません。



※案件によって詳細な条件を判断したうえで、対応できない場合がございます。

三面図



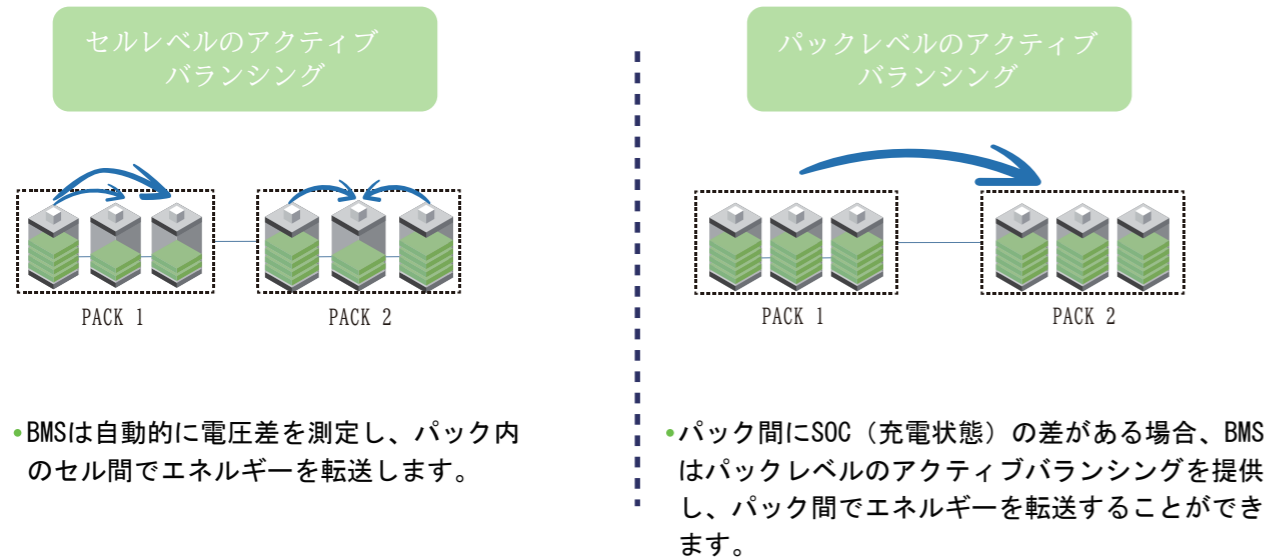
筐体仕様定義：

- 筐体全体は六つ独立的ユニットで構成され、前面扉は右片開きとし、左側ユニットは消防配電盤と水冷設備で構成される統合ユニット、その他は五つ蓄電池ユニットとする。背面はすべてパネルで覆われています。
- 各蓄電池ユニットの前後端上部に消防用吸気口及び排気口を設置。
- 蓄電池ユニットの番号は全面より左から右へ1号～5号ユニットとする。



電圧、容量の不均衡制御

アクティブバランス機能は、バッテリーセル間の電圧や容量の不均衡を効率的に調整する技術です。エネルギーを高電圧セルから低電圧セルへ動的に移動させることで、バッテリー全体の性能や寿命を最適化します。この機能により、充電効率が向上し、不均衡による劣化を防ぎます。



BMSの3段階管理

セル監視 (Cell Monitoring)

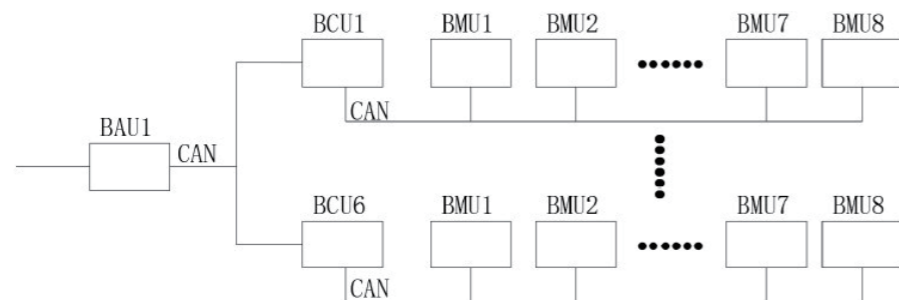
- 各バッテリーセルの電圧、温度、電流などの状態を常に監視します。セルの状態に異常が発生すると、BMSは充電や放電を停止したり、警告を発したりします。この管理段階は、過電圧や過放電、過熱などを防ぐために重要です。

バッテリーパッケの均等化 (Battery Pack Balancing)

- 複数のセルを直列または並列に接続して構成されるバッテリーパッケでは、セルごとの充電状態 (SOC) が異なることがあります。均等化は、これらのセルの電圧差を最小化するために行われ、パッケ全体の性能と寿命を向上させます。均等化には、セルごとの電圧を調整する方法 (アクティブバランスング、パッシブバランスング) が含まれます。

充放電制御 (Charge/Discharge Control)

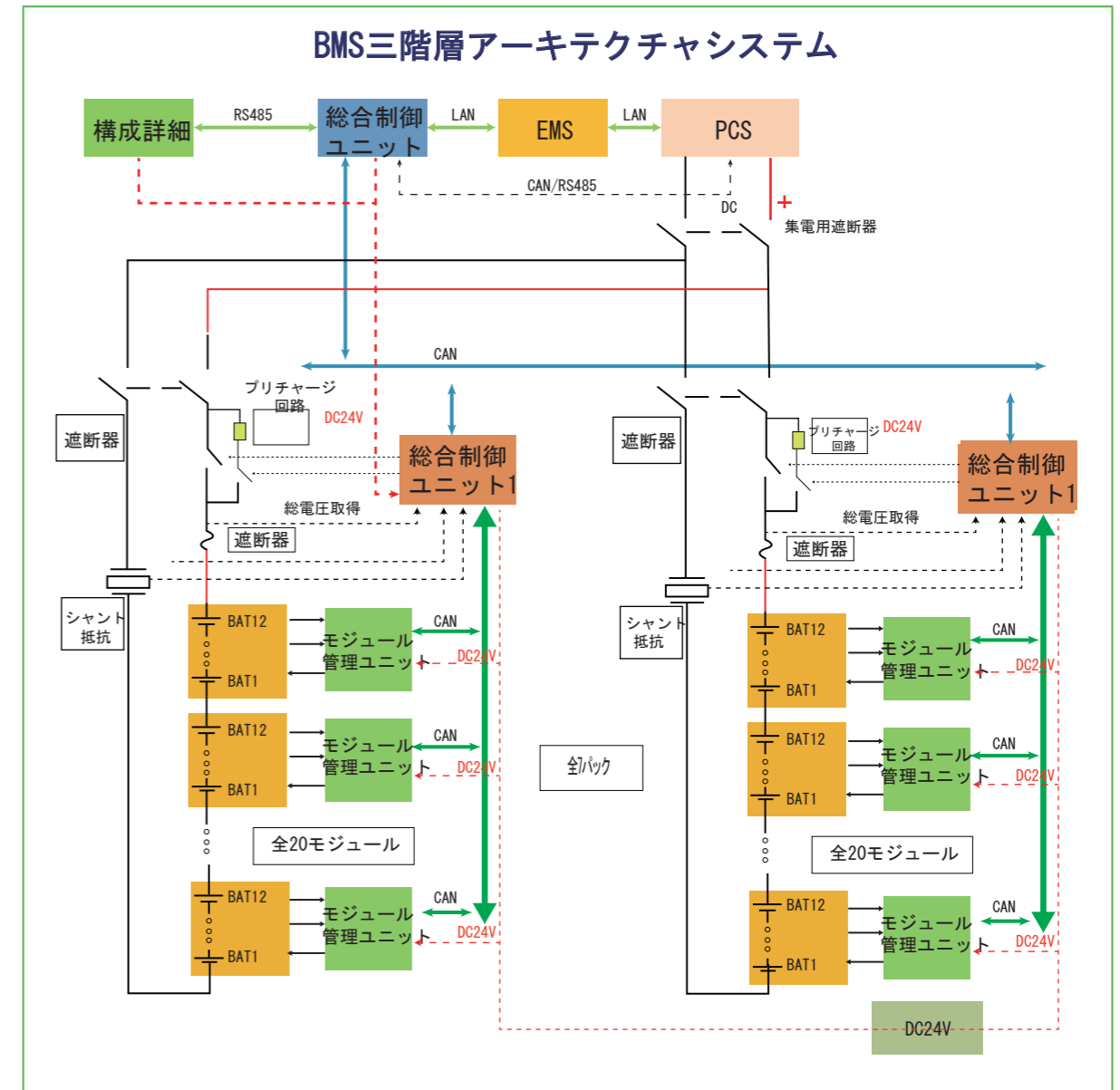
- バッテリーの充電と放電のプロセスを制御し、最適なSOC範囲内で運用されるようにします。これにより、バッテリーの過充電や過放電を防ぎ、バッテリーの劣化を抑えることができます。例えば、SOCが設定された上限または下限に達した場合、充電や放電を停止する機能が有効です。



BMSの特徴

温度管理

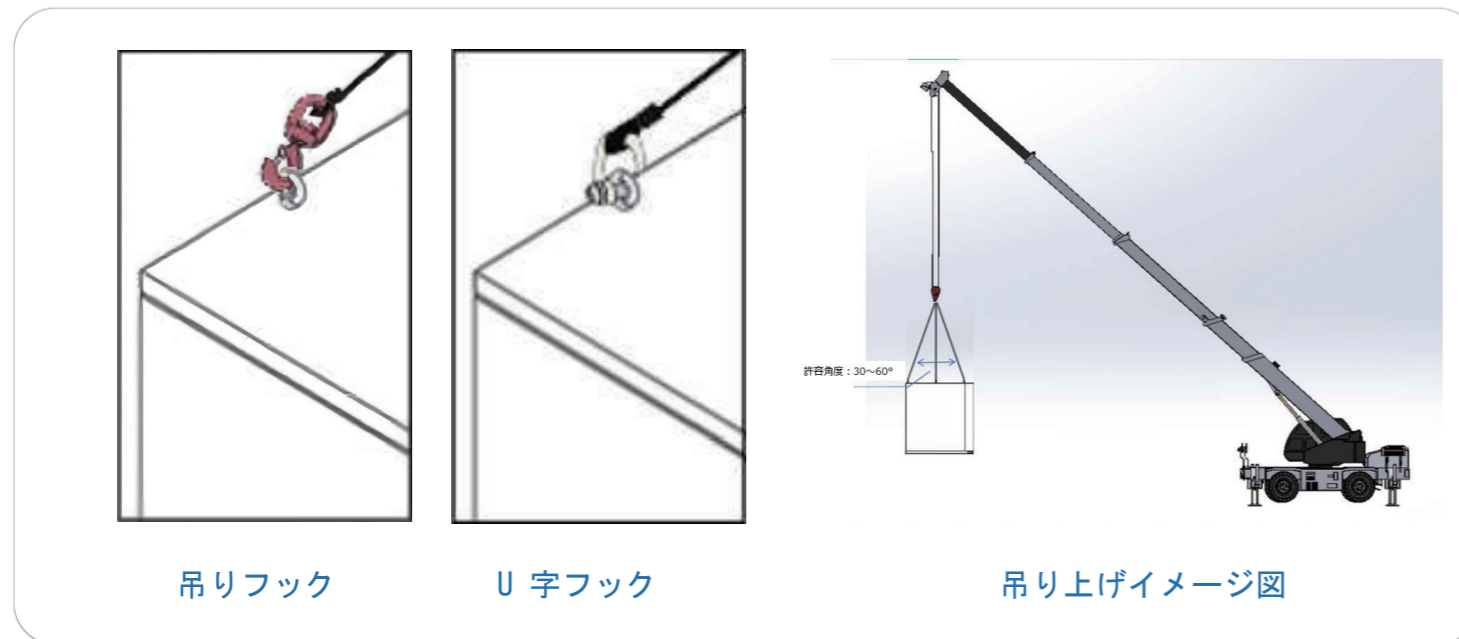
BMS (バッテリーマネジメントシステム) のセル温度監視は、リチウムイオンバッテリーや他の種類のバッテリーにおいて、温度が安全範囲内に保たれることを確認するための重要な機能です。温度の異常がバッテリーの性能低下や寿命の短縮、さらには火災などの危険を引き起こす可能性があるため、温度管理は非常に重要です。





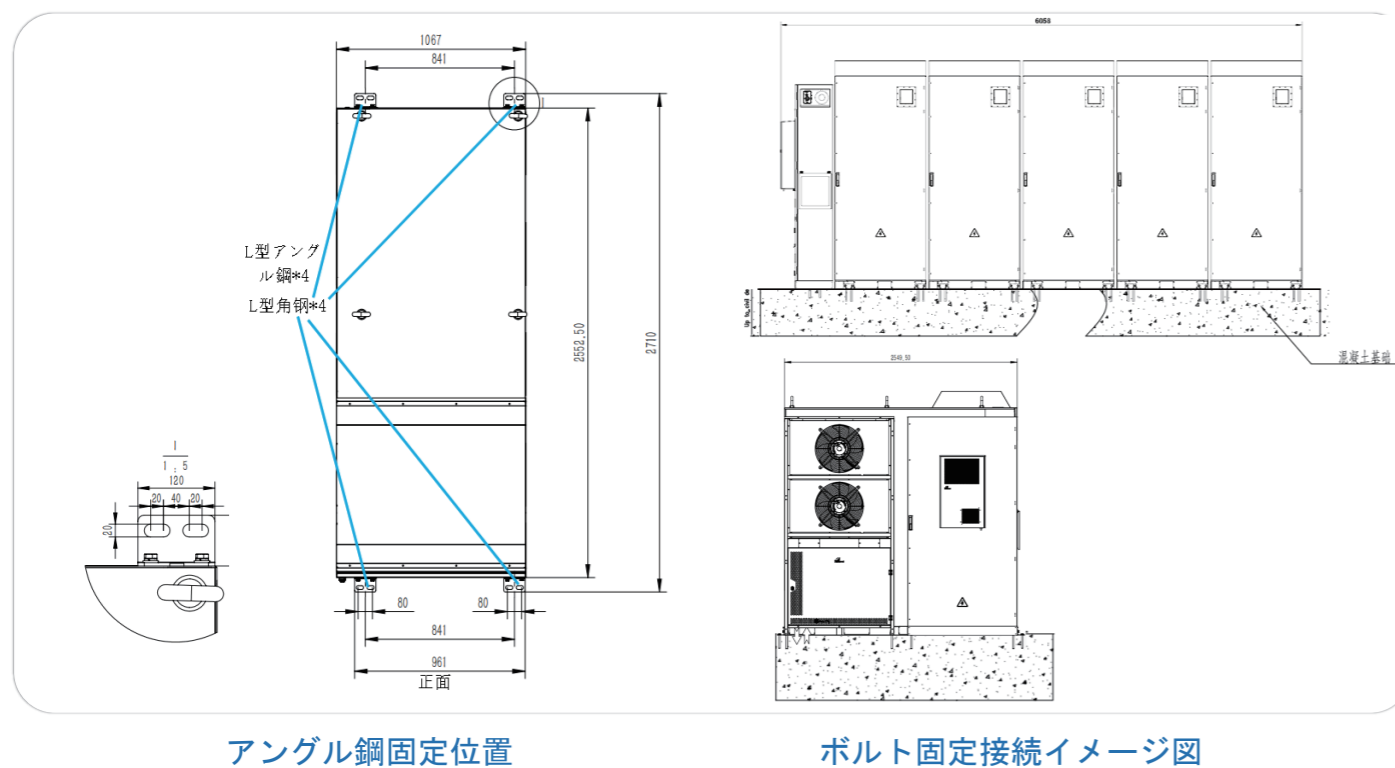
吊り上げ・輸送・保管

吊り上げ示意图



構造取付

- 本製品には、基礎固定用のL形アングル鋼および専用ボルトを標準装備。
- 設計に基づいた固定位置により、バッテリーキャビネットを強固かつ安全に設置いただけます。
- 詳細な固定位置は下図の通りです。



アングル鋼固定位置

ボルト固定接続イメージ図

輸送

Pome Powerの系統用蓄電システムは6分割式のコンテナを採用しており蓄電池コンテナユニットの1個の重さは約6.5トン。通行許可申請手続・輸送ルートの制約が無く、特殊輸送車両・大型クレーンの手配も不要です。また、分散型キャビネットタイプ蓄電システムでの課題である各キャビネット毎の協調制御は、システムでの一括制御により問題とならず、コストや信頼性の面で有利です。

輸送環境の要件

電池特性に基づき、電池モジュールは保管・輸送時に以下の条件を満たす必要があります。電池性能を最大限に保護するためです。

- 平均日間保管温度: $\leq 20^{\circ}\text{C}$
- 湿度: $\leq 95\%$ 、結露なし

輸送環境の要件 分納メリット

日本の多くは道が狭いため、大型車で納品が不可能だった場所への納品が可能です。



幅員制限4m未満の道路や重量制限がある橋も通行可能

8tトラックで配送可能

保管

システムを保管する際は、乾燥した倉庫内に保管し、直射日光および雨水を避けてください。倉庫内には、有害ガス、可燃物、爆発性物質、腐食性化学品を置かないでください。また、機械的衝撃、過度な荷重、強磁場の影響を避けるとともに、直射日光を避け、熱源からの距離は 2m 以上、壁・窓・空気吸入口からは 50cm 以上確保してください。

- 日平均保管温度: 20°C 以下
- 許容保管温度:
 - 短期保管 (1か月以内): $-20^{\circ}\text{C} \sim 45^{\circ}\text{C}$
 - 長期保管: $0^{\circ}\text{C} \sim 35^{\circ}\text{C}$
- 保管湿度: $\leq 95\%$ 以下 (結露なきこと)

上記条件下において、以下を推奨します。

- 3 か月ごとにバッテリーの放電・補充電を実施し、SOC を 15~40% の範囲に維持してください。
- 12 か月ごとに容量確認試験および再点検を実施してください。

液冷式蓄電システムの保管中に、ユーザーが本書に規定された保管方法および条件を遵守しなかったことに起因するシステム損傷について、当社は一切の責任を負いません。

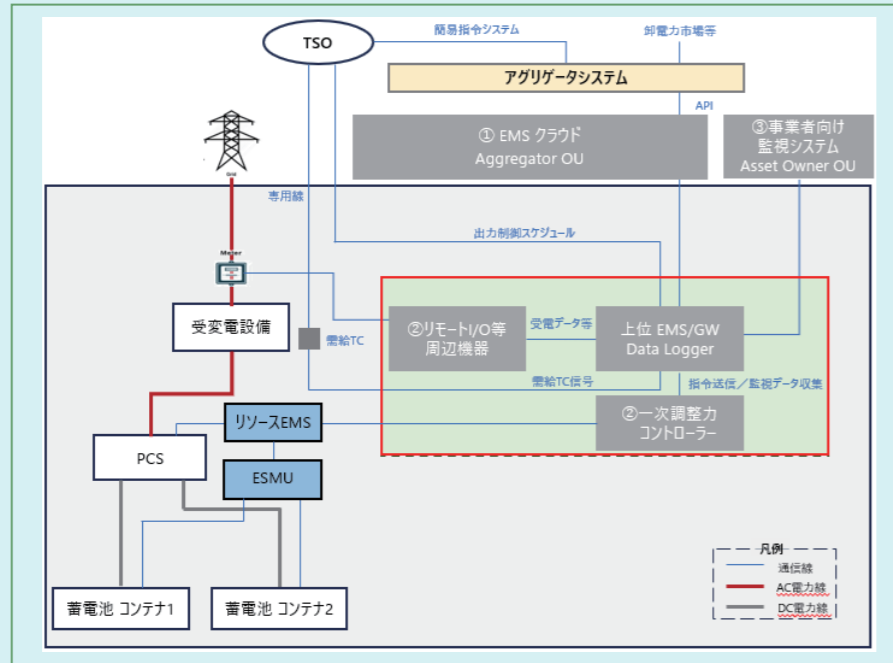


提携推奨メーカー



系統用蓄電システムの監視・制御を行うエネルギー・マネジメント・システム(EMS)を、オーナンバ社との協業により開発。主要アグリゲーター対応のユニバース社クラウドAPI連携※システムを採用しています。

<参考>



小規模な蓄電所向け(高圧、小規模の特高案件) ※容量により、HWスペックを調整

<オーナンバEMSの特徴>



- 1) オーナンバ製EMSをオンサイトに設置
 - ・アグリゲーター独自の端末を使わないため契約変更が容易(盤改造不要・短期間に契約変更が可能)
- 2) 高い通信信頼性を確保
 - ・一次調整力コントローラー2基搭載
 - ・IoTセキュリティ認証 JC star 取得(申請中)



NR Electric (南京南瑞繼保電氣有限公司、通称「NR」)は、中国の大手電力機器メーカーであり、主に電力保護、自動化、電力変換システム(PCS)、再生可能エネルギー、エネルギー貯蔵(BESS)ソリューションなどを提供しています。NRのPCS製品は、蓄電池システム(BESS)やマイクログリッドの制御、直流送電(HVDC)などの用途に適用されています。



ドイツのSMA Solar Technology AG (SMA)は、世界有数のPCSメーカーで、再生可能エネルギー分野でのリーダーとして知られています。特に太陽光発電向けPCS市場で広く活躍しており、住宅用、産業用、大規模発電所向けの製品ラインを展開しています。SMAは世界60か国以上で事業を展開しており、その製品は不具合が少なく、高い信頼性が評価されています。また、日本市場にも進出しており、FIT制度終了後の市場ニーズに対応するためのパッケージ化やアフターサービスなど、総合的なソリューションを提供しています。



遮熱断熱塗料 (オプション)



株式会社スケッチは、ナノテクノロジーを活用した高機能塗料やコート剤の研究・開発・販売を行っています。1995年に光触媒事業のコンサルタントとしてスタートし、建築や建材分野における光触媒技術の応用やコーティング技術の課題解決に注力してきました。

断熱塗料の特徴とスケッチ社の強み

遮熱と断熱の仕組み

- ・遮熱対策として白色塗料を使用し反射を高め、さらに中空ビーズを採用した断熱塗料は熱の伝達を抑制します。

断熱性能の向上へのこだわり

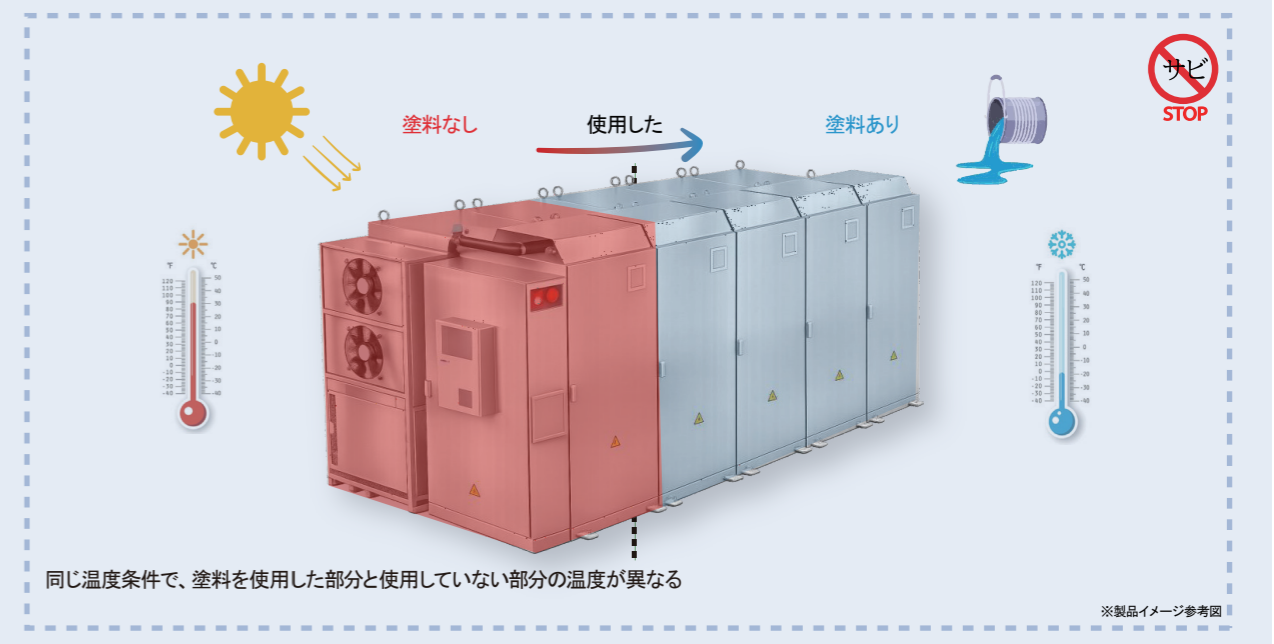
- ・断熱塗料の性能は中空ビーズの含有量が重要であり、スケッチ社は業界最高峰の含有量を誇ります。

断熱塗料の課題と解決策

- ・断熱塗料は表面が汚れやすく遮熱性能が低下しがちですが、スケッチ社は超親水防汚コートを開発し、この課題を克服しました。

優れた組み合わせによる提案

- ・高い断熱性能と長期にわたる反射率低下抑制を可能にする防汚コートの組み合わせで、最良のソリューションを提供します。

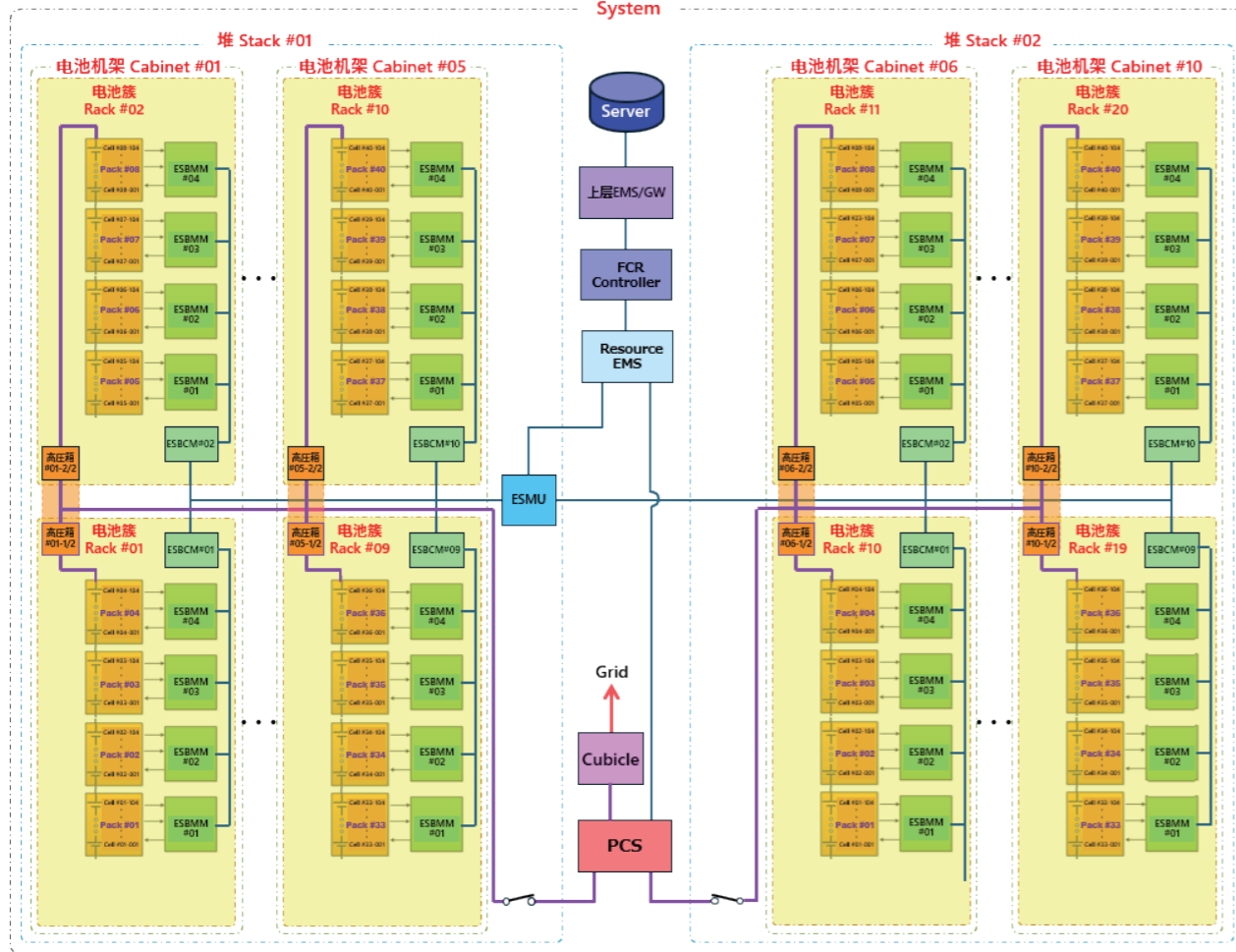


※製品イメージ参考図



系統用蓄電池システム

全体構成図



24時間/365日稼働サイバーセキュリティセンター



併設最適化

DCリンクの設計を採用し、太陽光発電システムに併設することが可能です。



モジュール化

コンバーターとパフコンはモジュール化の設計を採用します。



管理の可視化

蓄電池遠隔監視システムを搭載します。



組合せの自由化

蓄電池モジュールの各種組合せによって、お客様の容量ニーズを満たします。(MAX4 台並列)



拡張機能の無償化

VPPと接続の際に、ソフトウェアのアップグレードを無償で提供します。

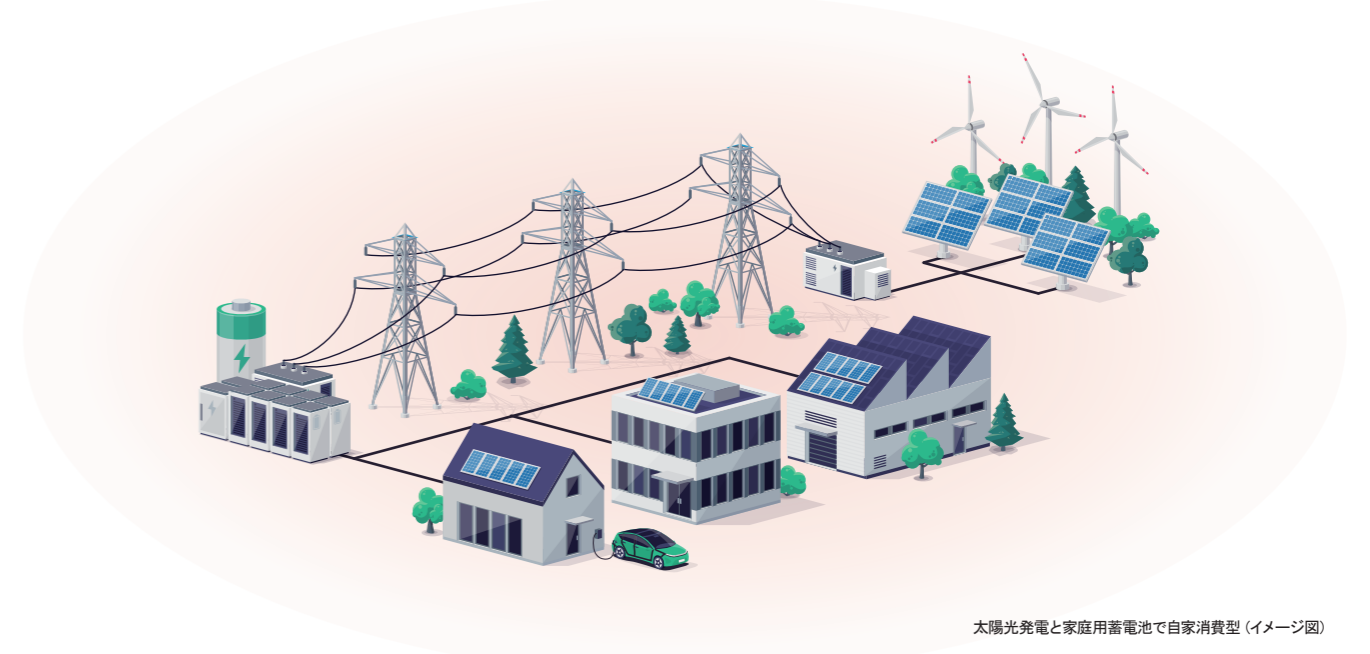


多様なシステム化

自家消費、BCP、ピークシフトピークカットなど多種多様なアプリケーションに適用しています。

完全自家消費

自家消費型太陽光発電は、発電した電力を自宅や施設で直接使うシステムです。これにより、電力会社から購入する電力を減らし、電気代を削減できます。余った電力は蓄電池に保存したり、売電したりできます。この方法は、コスト削減と環境保護に貢献し、エネルギー自給自足をめざす取り組みです。



太陽光発電と家庭用蓄電池で自家消費型（イメージ図）

完全自家消費型

	余剰自家消費	完全自家消費
発電と消費の流れ		
メリット	・余剰電力を売電できる	・稼働までの期間が短く、申請関連費用も安い ・設置制約が限定的かつ出力制御影響なし



CO2排出量の削減

太陽光で発電した電気を利用することで、電力会社から購入する電気を減らし、電気代を削減できます。



非常用電源として活用できる

災害や停電時など、電力供給が途絶えた場合でも、蓄電池に貯めた電力を使用することで、照明や家電の基本的な動作を維持できます。



電気代を削減できる

自家消費型はつくった電気を自家消費するため、電力会社から買う電気が少なくなり、電気料金の削減につながります。また、蓄電池システムを導入すれば電気を貯めておけるので、最も多くの電力を使用する時間帯に、貯めておいた電力を充当することでピークカットが可能です。



FIT制度による売電が可能

FIT制度（固定価格買取制度）の要件を満たすことで、太陽光発電でつくった電気のうち、自家消費では使い切れなかった電気を20年間電力会社へ売電することができます。これにより、追加の収入を得ることができ、投資の回収が早まる可能性があります。

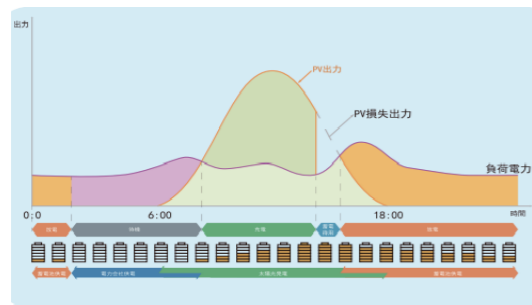


系統用蓄電池システム紹介

需要側

自家消費

PV発電出力が消費電力を上回る時、双方向PCSIによって蓄電池に充電できます。PV発電出力が消費電力を下回る時、蓄電池から双方向PCSIによって放電します。太陽光発電を最大限に活用することで、電力会社からの電気購入量を抑えられます。



BCP防災

災害時|系統の電力供給が停止しても、太陽光と蓄電池を併用し±BCP構成で、継続して電力供給を得られます。半日～数日分の蓄電容量を確保することで停電が長期化しても電力を持続出来ます。



発電側

FIT制度

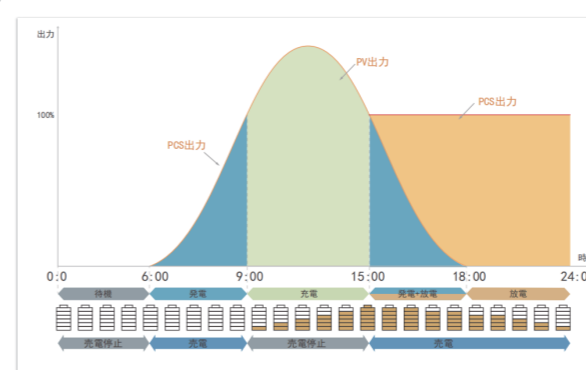
- 再生可能エネルギーの普及を促すことが目的
- 発電事業者が発電した電気を、電力会社が一定期間固定価格で買取る
- 買取価格が一定で、収入はいつ発電しても同じ
- 再エネ賦課金（国民・企業など電力使用者が負担）
- 需要ピーク時に供給量を増やすインセンティブなし
- 発電事業者が発電計画を作成する必要がなく、計画値同時同量におけるインバランス負担も発生しない
- 非化石価値なし

FIP制度

- 再生可能エネルギーの自立を後押しし完全自由競争にすることが目的
- 発電事業者が自ら電力市場に電気を売る
- 補助額（プレミアム）が一定で、収入は市場価格に連動
- 再エネ賦課金はFIT制度より少ない金額に抑えることができる
- 需要ピーク時に蓄電池の活用などで供給量を増やすインセンティブあり
- 正確な発電予測と発電計画が必要
- インバランスリスク（発電計画と実発電量が異なるとペナルティ）
- 非化石価値販売可能

FIP売電

蓄電池の導入



売電収入を最大化



変動する市場価格を意識し、買い取り価格の低い電気を蓄えて、市場価格が高い時間帯に売電をすることにより収益を拡大。

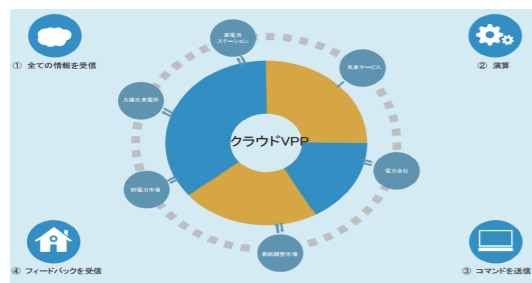
インバランスペナルティを削減

$$\text{FIP事業の収入} = \text{JEPXでの売電収入} + \text{非化石価値の取引収入} + \text{プレミアム} - \text{balancing cost}$$

蓄電池の充放電による調整を行い、balancing costを抑制することで、FIP発電事業の収益性を改善させることが可能となる。

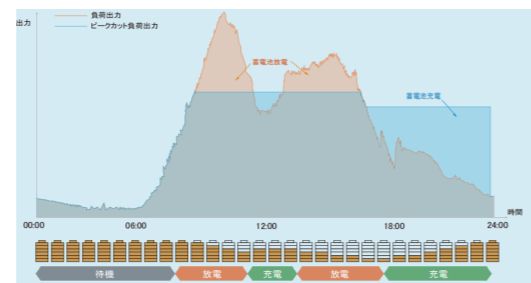
ピークカット&ピークシフト

高圧設備において、電気料金を抑える手段として最大需要電力を抑えるピークカット、ピークシフトという方法があります。電気使用のピーク時間帯は系統電源に加え、蓄電池からも電力供給することで、ピークカットを実現出来ます。



VPP

VPP(バーチャル・パワープラント=仮想発電所)は分散している発電・蓄電・需要をまとめて制御します。電力卸売市場にて有利な調整を行う、需給バランス調整による節電など、20%~40%の収益向上効果が期待出来ます。



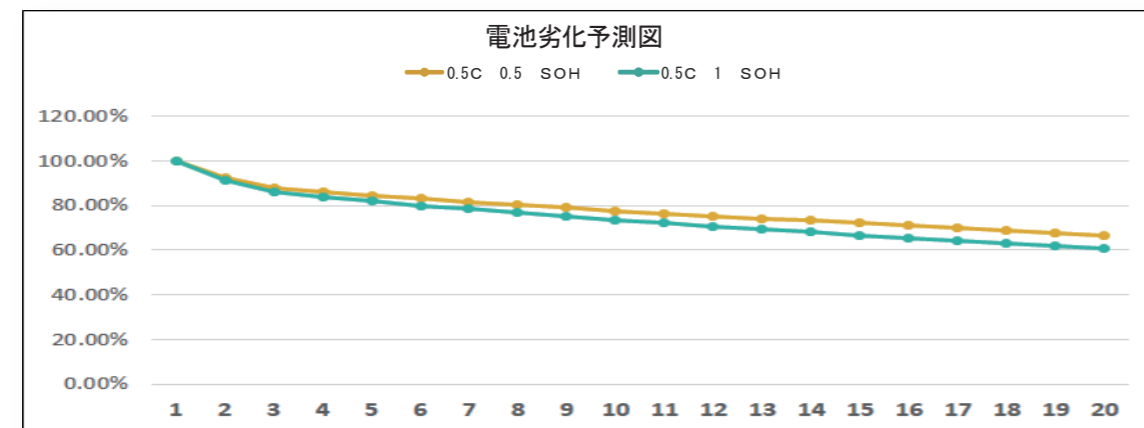


延長保証

SOC 長期保証サービス (有償) 財産個人保険を提供し、保険金額は2億円 (約42.72億円) です。



高性能長寿命セル



修理回数は無制限

- 延長保証期間中、保証限度額の範囲内で何度でも修理費用を保証します。なお、1事故において保証限度額全額消費の場合は、保証終了となります。

高水準の国際品質基準

- 国際基準の厳格な品質管理に則り高品質な蓄電池モジュールを製造しています。

サポート & トラブルシューティング

- 専門チームが、運用上の問題のトラブルシューティングと診断を通して、お客様に技術サポートを提供します。また、多くの問題はリモート操作で修正できるため、オンサイトサービスは不要です。

有償延長保証サービスについて

- 安心・安全の21年間長期保証サービスをご用意しております。

全面テスト検証

特定の材料に対して100種類の異なる検査や分析ができる能力

400以上の製品テスト項目

- 多段階: 材料、電池セル、モジュール、BMS、バッテリーパック
- 多次元: メカニズム、電気性能、安全性および信頼性など
- 規格: GB/T、ISO、IEC、UN、ECEなどを網羅し、完全な企業標準を形成

国際的に先進的な表現技術

- 単一粒子微小電極表現分析
- 高精度インシチ膨張分析
- 超高性能コンクリート (UHPC) 分析
- 電気化学シミュレーションおよび材料シミュレーション分析

サービス体制

サービススタッフ

- ①オンラインサービスセンター
受付: 24時間対応 全製品の故障受付
対応: 9:00~16:00
- ②フィールドサービス
試運転調整、定期点検、修理交換ほか

サービスプロバイダとの共同サポート

- 試運転調整、定期点検、修理交換、緊急駆付け他全国各地から、単独もしくはPOMEPOWER共同でサポート

サービスパーツの国内在庫

- 東京/福岡の専用倉庫から、全国へ速やかに発送

